

府中町ふるさと歴史散策

〔第53回〕

文化財としての地名⑭ 昭和初期の町内会名⑭ 沖おき

昭和初期の頃の字名は古い歴史に基づいた所が多く、現在も生き続けている。今回は「沖」について考えていくこととする。

⑭ 字 沖

「この地は昔、海であった。淵崎その他の広島湾の周辺で漁をした漁船が沖からこの地へ向けて帰って来るのを、住民は待っていた。そのためこの地区が『沖』と呼ばれるようになったと言われるが、これも想像にとどまるのみである。」（菅原守編『芸州府中荘誌』から、筆者が口語訳したもの。）

字沖は宮の町一丁目の西半分、宮の町二丁目の西半分、大通三丁目の大部分、大通二丁目の北部を占める地域である。近世初期の古文書には「沖」の地名がみられる。小字名は「下榊」、「入川」、「三角」などがある。沖地区にある教徳寺（宮の町一丁目、写真①）は浄土真宗東本願寺派で本尊は阿弥陀如来である。慶長15年（1609年）広島仏護寺従弟正雲が中山村（現広島市

東区中山）に建立し、寛永2年（1625年）僧空玄が開基した。明治13年（1880年）に寺号を免許され、明治15年（1882年）に現在地に移転して今日に至っている。

また、教徳寺の近くの宮の町一丁目と二丁目の境目（県道府中・海田線から教徳寺に至る小道）には「文芸小路」（写真②）と呼ばれる小さな路地がある。小路の入口には「文芸小路」と書かれた看板があり、少し入るとその小路の

民家の板壁沿い10m位にわたって短冊がかけてある。うたを愛する人たちの、それぞれの季節や生活への思いが詠まれている。なお、「文芸小路」は字「市」の地域に属する。

府中町文化財保護審議会委員
熊野 俊浩

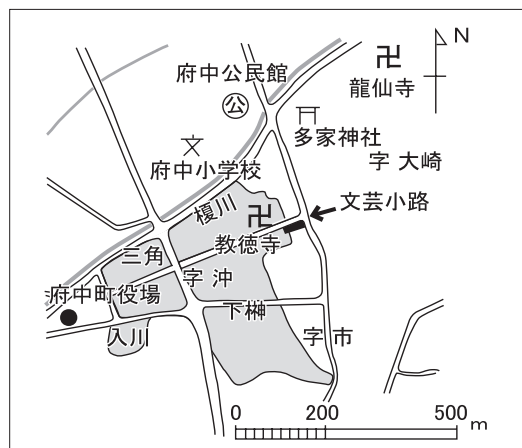
問い合わせ
教育委員会生涯学習課
☎286-3272



写真① 教徳寺



写真② 文芸小路



地図「字 沖」(□の部分)とその周辺図

人の動き

3月1日現在(前月比)

人口	51,977(+38)
男	25,574(+17)
女	26,403(+21)
世帯	21,502(+41)
面積	10.45km ²

町の花
つばき

町の木
くすのき

お悔やみ

〈敬称略〉

氏名(年齢)	住所	死亡日
松川 義夫(84)	城ヶ丘	2/3
山田 鉄男(88)	鹿籠一丁目	2/3
花野 芳江(91)	山田二丁目	2/6
大吞憲太郎(88)	大通一丁目	2/8
藤原 茂(67)	浜田四丁目	2/10
寺田 定子(86)	宮の町一丁目	2/12
小島 博文(77)	緑ヶ丘	2/20

※この「お悔やみ」欄には、「町広報紙掲載申出書」の提出があった場合のみ掲載しています。

なお、「町広報紙掲載申出書」の受け付けは3月末日で終了しました。

問い合わせ

地域振興課広報聴担当

☎286-3127

「広報ふちゅう」等のカセットテープ版・点字版のご案内

「広報ふちゅう」「議会だより」「ふれあい府中（社協だより）」のカセットテープ版・点字版を、希望者に無料で貸し出し・提供しています。

あなたのまわりの視覚に障害のある方に是非お知らせください。

申し込み・問い合わせ 府中町社会福祉協議会 ☎285-7278 FAX287-3467

